

## 放課後等デイサービス 保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

\* 100%にならないものもあります。

公表:平成31年1月15日

事業所名 あけぼの園 回収率 56パーセント

		チェック項目	評価			ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24%	56%	24%	人数によれば狭い部屋もある。てくてくさんはプレハブの中での活動は制限されていると思う。建物の老朽化のため、仕方がないところもあると思う。もう少し、広い方がいいかと思います。てくてくルームは利用者数から考えると、とても狭いと思います。パーソナルスペースが確保できないと、ストレスになると感じます。	てくてくルームの部屋のみでは狭く感じることもある。活動内容を工夫し、プレイルームを利用したり、個室対応、外出等を行っている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	59%	31%	12%	人数が足りないのでは？いろいろな特性を持つ子供たちがいる事は分かりますが、常に注意が必要な子供が複数いると人数的に職員不足ではないかと感じます。	職員の配置数は問題ないが、活動内容、利用人数により、支援者が複数必要な場合もあるため、全職員で対応に当たっている。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29%	63%	12%	駐車場が狭すぎる。入り口のすのこの部分は通りにくいです。出る時に良く渋滞します。	今後も工夫しながら、改善していく。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、放課後等デイサービスを作成されているか	94%	6%	0%		
	5	活動プログラムが固定化されないように工夫しているか	47%	56%	0%		利用児の特性に応じて、同じ活動（例買い物学習・サーキット等）でも内容を変えている。クラス懇談会等を通じて、療育の内容を伝えていく。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18%	63%	24%	機会は設けられていますが、回数は少ないと思うので、なかなか体験できません。	小学校の交流を受け入れたり、運動会や家族参観日など、兄弟との活動の機会を設けている。地域交流の機会を検討していく。
	7	支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88%	13%	0%		

保護者へ説明責任等

8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	71%	31%	0%	早く帰ってほしい雰囲気を感じるので、なかなか話すことが出来にくくなっているため、迷惑をかけたくないと思い話せない時がある。話す機会が少ないことが残念です。保護者だけでなく、学校の関係者にも共通理解が出来るように取り組んで頂けると助かります。	話しやすい環境を整えていく。
9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	76%	25%	0%	支援計画作成時、クラス懇談・個別懇談の機会はあるが、実際に困っているときに相談できる機会が少ない、あるいはないと感じます。	必要に応じて、電話で対応したり、別面談の時間を設けている。
10	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援されているか	59%	44%	0%	同じ悩みを持つ保護者や悩みに対処したことのある保護者をマッチングして相談し合える場があると嬉しいです。支援者の助言も参考にしたいです。	ダウン症の親の会の発足の機会を作った。年2回のクラス懇談会の実施。たけのこ会（保護者会）の支援等を行っている。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	47%	50%	6%	そのような事例を知りません。苦情がないので、対応についてはどちらも言えません。園便りで苦情があった報告がありましたが、内容や対応についての記載がなく、意味がないように感じました。	あけぼの園利用児からの苦情ではなかったことと、個人情報保護の観点から内容の詳細は控えめました。今後も誠意をもって対応していきます。
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	71%	31%	0%	子どもの特性に配慮して支援をしているとは感じますが、人数が多く、一人一人の気持ちに寄り添うことが難しそうです。保護者も同様です。	特性に応じて視覚支援を多く使用したり、別室対応をして、環境を整えている。
13	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信されているか	82%	19%	0%	行事計画や、活動内容は園便りで発信されていて、十分だと感じています。ホームページがあれば、いつでも確認できたり、行事の申し込みも便利だと思います。	社会福祉協議会のホームページがあります。
14	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%	0%	0%		

非常時等の説明	15	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知・説明されているか。	47%	50%	6%		未作成の防犯マニュアルや、感染症対応マニュアルも作成し、周知している。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	65%	38%	0%	非常災害の訓練に参加していないので、どちらとも言えません。避難訓練のある日に通園している子どもが訓練が出来ていないと思います。曜日ごとに全員が通園していることを想定した避難計画と保護者の確認が必要だと思います。	今年度より、園便りに避難訓練の報告を掲載している。避難経路を各ルームに提示している。てくてくルーム対象で年2回地震・火事の避難訓練を実施。また、引き渡し訓練を計画している。多くの方が週1回の通所利用児であるため、避難経路の確認をより徹底している。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	71%	31%	0%		楽しめる活動内容を今後考えていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	71%	31%	0%	なんでも相談できる場所になっています。いくじ学級やいろいろなイベントをさせていただき良いと思いますが、なかなか参加できず残念です。前年の評価以降、対応、改善された点の報告が評価の前に報告されると良かったと思います。園を通じて繋がれる場所が増やせるような場であってほしいです。移動の時間の確保が難しく、なかなか通えなくなっています。	宇和島市リレーファイル「つなぐ」の活用を進め、関係機関が繋がっていきたい。昨年度の評価の後、職員配置や、個別対応など改善しています。

## 児童発達支援 保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年1月15日

回収率 66%

\* 100%にならないものもあります

	チェック項目	評価				ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	73%	18%	9%	0%	どの年代の部屋も狭いと思います。今の人数なら問題ないと思う。子供の人数が増えているので、駐車場、教室が狭くなっていると思います。狭いです。・広すぎず、狭すぎず、ちょうどよい広さだと思う。通所人数とあっていない。	前年度評価を参考に0～3歳児クラスを2クラスに分け、部屋の狭さを改善した。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	85%	9%	0%	6%	専門の先生からアドバイスがもう少しほしい。適切であるので安心して預けられる。	
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	70%	18%	6%	6%		今後も工夫しながら改善を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	85%	15%	0%	0%	トイレがいつもきれいで使いやすい。古い建物ですが、トイレなどきれいに保たれていると思います。施設が老朽化している。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	97%	3%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援提供すべき支援」の「発達支援(本人支援・及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援目標が設定されているか	85%	0%	0%	15%		個別支援計画配布をより丁寧に行っていく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94%	3%	0%	3%		
	8 活動プログラムが固定化されないように工夫しているか	82%	12%	0%	6%	いろいろさせていただくので良いと思う。	
	9 保育所や、認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	73%	0%	9%	18%	小学生に折り紙をもらって喜んでました。	連絡会や保護者の方からの話を通じて、交流の様子を聞いている。

	10	運営規定・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	94%	3%	3%	0%		
保護者へ説明責任等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	82%	0%	0%	18%		今年度より、ガイドラインの項目別の目標設定を行い、支援計画に記載している。個別支援計画配布をより丁寧に行っていく。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか	76%	9%	3%	12%		毎月1回のいくじ学級を行い、家族研修を行っている。
	13	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	91%	3%	3%	3%	親身に話を聞いてくれます。話をしっかり聞いていただくので、いろいろ相談しやすい。	
	14	定期的に、保護者に対しての面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%	ためになる助言をくれます	
	15	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援されているか	73%	15%	6%	6%		今年度はダウン症の親の会の発足の機会を作った。年2回のクラス懇談会の実施。たけのこ会（保護者会）の支援等を行っている。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	0%	3%	9%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%	6%	0%	6%		
	18	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信されているか	88%	3%	0%	9%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	85%	3%	3%	9%		
非常時	20	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練を実施しているか	70%	9%	0%	21%		未作成の防犯マニュアルや、感染症対応マニュアルも作成し、周知していく。

その説明	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	61%	15%	0%	24%	訓練日に通園していない場合、把握できない部分があると思う。・分かりません。	今年度より、園便りに避難訓練の報告を掲載している。避難経路を各ルームに提示している。あいあいくルーム対象で年2回地震・火事の避難訓練を実施。多くの方が週1回の通所利用児であるため、避難経路の確認をより徹底していく。
	満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	85%	15%	0%	0%	幼稚園とは違った刺激を受け、楽しく通わせてもらっている。とても楽しそうに通所しています。来たら喜んでいるけれど、幼稚園の方が喜んでいきます。毎週楽しみです。優しい先生と楽しい遊びでとても成長でき、満足です。
		23	事業所の支援に満足しているか	88%	9%	3%	0%	希望通りの日に通所してもらっているので、満足しています

## 放課後等デイサービス 職員における自己評価表[公表]

\*100%にならないものもあります。

公表:平成31年1月15日

事業所名 あげぼの園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室との関係で適切であるか	17%	67%	17%	人数によって部屋が狭く感じることもある。てくてくルーム以外での活動を臨機応変に行っている。	部屋と定員の関係は適当であると思うが、利用希望者（複数回利用や利用希望の曜日指定）などがあり、それらを実現するには、施設の拡張と職員の増員を図る必要がある。広い部屋が常に使用できる状態ではない。適切な広さのあるところへの移転がよい。
	2 職員の配置数は適切であるか	67%	33%	0%	人数や、療育内容によっては、放課後デイ職員以外からの応援を受けている。	
	3 事業所の設備等はバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17%	50%	33%		てくてくルームからトイレや配膳をする場合、療育中のプレイルームを通る必要がある。段差の解消が必要である。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	職員会・カンファレンス・ケース会議を定期的実施	
	5 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか	100%	0%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に努めているか	17%	17%	67%		設置者である宇和島市の評価を受けている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	月1回実施	深い学びができない。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	33%	0%		情報の共有。スタッフの経験の積み重ね。標準化されたアセスメントツールの読み取りの方法を周知していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%		
	12 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	100%	0%	0%		

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めて細やかに設定して支援しているか	67%	17%	17%	出来る限り変化のある療育を心がけている。	外出先など同じ場所になりやすい。新しい場所の開拓が必要。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%		集団で活動できない子どものみ個別活動をしているだけで、今後考えていきたい。
	15	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%		
	17	日々の記録に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%		
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	83%	17%	0%		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	100%	0%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	67%	17%	17%		過去は連絡会を開催していたが、断ち切れたままになっている。療育を休まないで、落ち着いて連絡会ができない。この会議は子どもの個別支援の一環なので、実績として考えてほしい。下校時刻や、迎えが必要かどうかは保護者と確認している。数名に限るが、子どもの様子や、課題について共有できている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか					医療的ケアが必要である子どもがいない。
	23	就学前に利用していた、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	0%		
	24	学校を卒業し放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					中学生までの受け入れであるため該当児がいない。
25	児童発達支援センターや、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83%	17%	0%	愛媛県発達支援通園事業連絡協議会において公開療育を行い、助言や感想を頂いた。		



こ の 連 携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	17%	67%	年に1回地域の小学校との交流を行っている。運動会や家族参観日などでは兄弟参加を募っている。	地域交流の機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	71%	14%	14%		子どもの発達の状況や課題について、共通理解は持っているが、保護者と話す時間は限られているため、電話や別日で相談を設けている。
	29	保護者の対応力を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	17%	33%	いくじ学級にて家族支援についての講話を行っている。	ペアレントトレーニングの研修等に参加して実践を行ってきたい。
保 護 者 へ 説 明 責 任 等	30	運営規定・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%		
	33	子どもや保護者からの相談や苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%		
	35	個人情報の取り扱いに十分注意している	100%	0%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	17%	50%	33%	運動会や、卒園式などに招待している。ボランティアを募っている。	
非 常 時	38	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	33%	67%	0%		未作成の防犯マニュアルや、感染症対応マニュアルも作成し、周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%		

等の説明

41	どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	67%	33%	身体拘束ではないが、興奮時における別室対応の必要性を記入している。	身体拘束については、いまのところ該当者はいないが、マニュアルは作成しておきたい。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	50%	33%	17%	指示書はもらっていないが、保護者からの聞き取りを行っている。職朝でアレルギーの対象者の有無を確認している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%		

児童発達支援事業所

職員における自己評価表 [公表]

\*100%にならない場合があります。

公表:平成31年1月15日

事業所名 あけぼの園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室との関係で適切であるか	63%	13%	25%	必要に応じて、年齢にこだわらない療育体制を取っている。	今年度は、年齢別の部屋を分けたことで、昨年度よりもゆったりと過ごしている。常時空き部屋が無く、そのため療育相談や面談の部屋が取りづらい。月案や部屋割り表を活用して部屋を使い分けていく。
	2 職員の配置数は適切である	63%	13%	25%		その日の子どもの人数や職員の人数によってはギリギリなこともあるため、増員してほしい。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13%	50%	38%	視覚支援を行っている。	段差がある。通路が狭い。また、プレイルームを通らないと別の部屋の移動ができないことや、職員室を通して大人がトイレに行くなど改善が必要。
	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている	75%	0%	25%	毎朝全職員で清掃をしている。	建物の老朽化、トイレの配置など、構造上の問題がある。静養空間も足りていない。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	88%	13%	0%	職員会・カンファレンス・ケース会議を定期的に行っている。	
	6 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページで公開している	100%	0%	0%		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に努めている	0%	25%	75%		設置者である宇和島市の評価を受けている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	月1回実施	
適切な+	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援提供すべき支援」の「発達支援（本人支援・及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援目標が設定されている。	100%	0%	0%		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%		
14 活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%	0%			

支援の提供	15	活動プログラムが固定化されないように工夫している	88%	13%	0%		他事業所の見学や、専門分野の研修会等に参加し、活動プログラムの内容を広げていきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	17	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	88%	13%	0%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有している	63%	38%	0%	週1回のカンファレンス・当日の振り返りを行っている。必要性・緊急性に応じて全体に周知している。	
	19	日々の記録に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを判断している	100%	0%	0%		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	100%	0%	0%		
	22	母子保健や、子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	63%	38%	0%	年2回連絡会を行い、情報を共有している。いちご教室や、5歳児健診等に参加している。	
	23	(医療的ケアが必要な重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっている					医療的ケアが必要な重症心身障害のある子どもの該当がない。
	24	(医療的ケアが必要な重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%		
	26	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	13%	0%	愛媛県発達支援通園事業連絡協議会にて公開療育を行い、助言や感想を頂いた。	
	28	保育所や、認定こども園、幼稚園との交流や障言のない子どもと活動する機会がある	63%	0%	38%	ほぼ並行通園を行っている。和霊小学校との交流会の実施。	在宅児に関しては、みゆき保育園との交流も考えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	0%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%		
	31	保護者の対応力を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	38%	38%	25%	いくじ学級にて家族支援についての講話を行っている。	ペアレントトレーニングの研修等に参加している。実践を行っていきたい。
32	運営規定・利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%			

保護者へ説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	88%	13%	0%	自分だけで答えられない時には、他の職員に確認している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	0%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%		
	38	個人情報の取り扱いに十分注意している	100%	0%	0%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や、情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っている	25%	13%	63%	運動会や、卒園式などに招待している。ボランティアを募っている。	
非常時等の説明	41	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	63%	25%	13%		未作成の防犯マニュアルや、感染症対応マニュアルも作成し、周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	43	事前に服薬や、予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている	75%	25%	0%	指示書はもらっていないが、保護者からの聞き取りを行っている。昼食でアレルギーの対象者の給食の有無を確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		
	47	どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0%	25%	75%	身体拘束ではないが、興奮時における別室対応等の必要性を記入している。	